

高尾山古墳保存整備事業 (R1 充当額 2,461,000 円)

東日本最古級の前方後方墳である高尾山古墳を地域の宝として保存整備するため、道路整備と両立させた古墳の国史跡指定を目指しています。また、樹木剪定などの環境整備や古墳の普及啓発のほか、史跡整備の検討を進めています。



高尾山古墳航空写真

(事業実績・前年度からの進捗状況)

- ・古墳の保存を前提とした道路デザイン案の決定にあたり文化庁と協議しました。
- ・墳丘上の樹木伐採と古墳名称看板の設置など環境整備を行いました。
- ・古墳の価値を啓発するため、学校や博物館で活用する出土遺物レプリカを作成しました。



令和元年度高尾山古墳保存整備事業

左上：墳頂部の樹木伐採

墳丘の保存や復元に支障がある樹木を伐採しました。

右上：出土遺物レプリカ作成

樹脂や石膏で型どりをを行い、本物そっくりのレプリカを作成しました。

左下：文化庁主任文化財調査官協議

整備方針検討のために意見をいただきました。

～担当者より～

東日本における古墳時代の幕開けを示す貴重な古墳の保存活用のためにご寄附いただき誠にありがとうございます。沼津市では古墳の国史跡指定を目指すとともに、より良い史跡整備ができるよう努めてまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。

